

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第2回戸田市保健対策推進協議会
開催日時	令和5年3月22日(水)(午後1時28分～午後2時45分)
開催場所	戸田市福祉保健センター1階 集団指導室
出席者	<p>学識経験者(埼玉県立大学教授):北畠 義典 蕨戸田市医師会:早船 直彦 蕨戸田歯科医師会:板橋 裕 戸田市薬剤師会:成塚 康之 埼玉県南部保健所:鈴木 洋子 戸田市社会福祉協議会:松山 由紀 戸田市商工会:金子 秀一 公募による市民:前野 裕子 公募による市民:小川 敬洋 公募による市民:高橋 美幸</p>
欠席者	戸田市町会連合会:永井 富治
事務局	福祉保健センター 後藤所長、遠藤課長、岡本課長、仙波課長、長谷川主幹、野口副主幹、中島副主幹、宮崎主任
議題	<p>(1)令和4年度戸田市健康づくりに関する市民アンケート調査単純集計結果について (2)第3次健康増進計画・第2次食育推進計画の取り組み状況について (3)戸田市がん対策推進条例の制定及び新規事業について (4)親子保健事業に係る新規事業について (5)その他</p>
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議題1 市民アンケート単純集計結果 ・議題2 健康増進計画・食育推進計画の進捗状況調査結果 ・議題3 1 戸田市がん対策推進条例(案) 2 補正具補助金チラシ 3 ターミナルケアチラシ ・議題4 親子保健事業に係る新規事業について 出産・子育て応援資料 ・その他 R5 計画策定スケジュール案

(会議発言の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会
事務局	出席委員数報告をする。本日の出席委員数は10名、委任状提出1名。本協議会要綱第6条第2項により本協議会の会議は成立した。 議事 (1) 令和4年度戸田市健康づくりに関する市民アンケート調査単純集計 結果について
事務局	市民アンケート調査単純集計の結果について説明
会 長	何か意見があるか。
委 員	市で行っている他のアンケートに比べると回答率が高いと感じる。 今回の結果において、特徴的なものはあるか。
事務局	健康意識の点で、主観的な「健康だと感じている」割合が、前回のアンケート結果からそれほど数値的には下がっていないが、身長体重の変化などの健康への関心やがん検診受診率向上など全体的に改善されていない。コロナの影響を踏まえながら検証していきたい。 運動について、体を動かしている割合は、前回より上昇している。なぜ向上しているのか注目していきたい。 休養とところの健康について、戸田市における自殺の死亡率への対策を考えていくうえで、コロナ禍の影響による経済的負担など世の中の情勢を把握していく必要がある。 食育について、前回と比べるとすごく悪くなっているわけではないが、さまざまな健康に関連した重要な点なので推進を進めていきたい。 住民の健康意識が様々な健康行動に影響を勘案しこれからの計画を策定していきたい。
委員	前回の会議でも話題になったが、「これまで自殺を考えたことがありますか」という問いに対して、この数値が高いか低いかわからなかった。そのため、厚労省が行った全国の調査で、設問は少々違うが、平成20年では20%、平成28年では23.6%となっており、4人に1人が自殺を考えたことがあるという結果だった。
会長	前回行った市民アンケートはいつだったか。

事務局	平成29年に行っている。計画が5年であるため、計画策定の前年度に毎回行っている。
会長	<p>コロナの影響が気になる場所である。また、集計については、男女別に集計をしてはどうだろうか。</p> <p>自殺自体は減ってきているようだが、戸田市としてはどうなのかが気になる場所である。また、「こころの健康の問題について、相談できる機関を知っている」という設問に対し、わからないと回答している数値が多いことが気になる。そのため、必要とする人に伝わる広報をお願いしたい。</p>
会長	続いて、(2)第3次健康増進計画・第2次食育推進計画の取り組み状況について
事務局	資料：健康増進計画・食育推進計画の進捗状況調査結果を基に説明
会長	資料については、令和3年度の報告となっているが、令和4年度はどうだったか。
事務局	令和4年度の方がコロナ対策を講じて事業準備ができています。
会長	受ける側もコロナへの理解が深まってきているので、事業を選ぶ際にも対策を講じて参加しているように感じられる。
委員	新規事業について、どこが企画し、実施の可否はどこが判断しているのか
事務局	コロナ禍なので、担当課ごとに考えてもらっている。
委員	年々状況が変化しているので、新規事業が増えてくるといいと感じた。
会長	<p>コロナ禍において新規事業を立ち上げるのは非常に難しかったのではないかと。新規事業の実施方法についてもコロナに対応したものだったかを把握しているのか。</p> <p>令和4年度では新規事業があったのか。その事業については実施されたのか。</p>
事務局	令和4年度については、これから関係各課に照会を行っていく予定である。
会長	続いて、(3)戸田市がん対策推進条例の制定及び新規事業について
事務局	戸田市がん対策推進条例及び新規事業について説明
委員	ターミナルケア補助金について、対象年齢(20歳以上40歳未満)を設定した

	理由は何か。また、補助金額の期間や回数はどうなっているのか
事務局	対象年齢を20歳以上40歳未満とした理由としては、40歳以降の方については介護保険2号の適用になり、20歳以下の方については小児用慢性の適用対象となるためである。また、訪問介護及び福祉用具の貸与については、1か月あたり合わせて7万2千円を上限に請求可能であり、使用できる期間に制限はなく、1か月単位での請求となる。福祉用具の購入については、生涯1度限りとなり、上限は9万円となります。
会長	資料のチラシにはその旨の記載がないので、補助金額、期間等について記載があった方がいいのではないかと。
委員	ターミナルケアについて伺いたい。小児慢性の制度において、訪問介護や入浴は含まれているのか。医療だけではなかったか。
事務局	ターミナルケアについては、他自治体でも実施しているところがあり、そちらを参考にしつつ南部保健所にも協力を仰ぎながら、対象者が何を必要としているかを十分に考慮し、対象者が困らないようにしていきたいと考えている。
委員	医療保険では3割や1割が自己負担となるが、このターミナルケア制度は対象者の方は全て1割となるのか
事務局	この制度については全て1割負担としている
委員	ホスピス等が増えてきている。在宅となる方も入所するが、ホスピスは対象となるのか。
事務局	あくまで在宅の方が対象となるので、ホスピスは対象とならない。
会長	いつから実施となるのか。漏れの無いように広報を工夫してほしい。
事務局	医師会等に協力を仰ぎながら、令和5年4月1日から実施する。
会長	続いて、(4)親子保健事業に係る新規事業について
事務局	親子保健事業における新規事業として、100年健康プロジェクトに係る食生活改善による健康づくりについて説明。 二つ目に、伴走型相談支援と、出産・子育て応援給付金一体的実施事業について説明。

会長	出産・子育て応援給付金一体的実施事業は、戸田独自の事業となるのか。
事務局	国の施策となるが、戸田市はいち早く実施している。
委員	市民アンケートの対象者は20歳以上となっているが、食育については、保育園や小中学校などで、朝食を食べてこない子どもが多いように感じられるが、他の地域に比べて低いのか。戸田市の特徴として、都内やさいたま市へ親が出勤している方が多く、子どもだけが残されているケースが多いように感じる。
事務局	現在小中学校のデータを取得していない。今後学校を通じてアンケート調査を実施予定である。
会長	学校の食育はどこが担当しているのか。家庭科や養護教諭によるのか。
事務局	学校教育の中で実施しているので、福祉保健センターではカリキュラムまでは関与していない。
会長	学校とどのように連携していくかが重要である。
事務局	計画を策定していくにあたり、学校がどのような支援を必要としているのか現状を把握していく。
会長	子ども食堂などの立ち上げはあるのか。子ども食堂などで食育は行えないか。
委員	<p>以前は高齢者の居場所づくりに力を入れていたが、現在は子ども食堂や学習支援なども積極的に取り組んでいこうとしている。</p> <p>コロナ禍の影響もあるが、ここ2年ほどは、フードパントリーなどを実施すると多くの要望があり、受け取る家庭を見ていると、子どものいる家庭でも栄養バランスを考えているというよりは、食べることも難しい家庭があると感じた。</p>
会長	どういった人がこぼれていくのか。こぼれていく人が少なくなるように考えてもらいたい。
会長	続いて、(5)その他について何かあるか。
事務局	<p>今後のスケジュールについて説明</p> <p>次回の開催について、来年度は計画策定を進めていくため、年間5回程度の開催を予定している。</p>
	閉会 以上

